

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
オリンピック関連		○リオ大会 会場視察		平昌(冬季)大会	東京大会テストイベント	
○2020年東京オリンピック・パラリンピック推進事業	ビジョン策定	(仮称)オリパラ支援会議設置 アクションプラン策定 ・ホストシティ・タウン構想申請・登録 ・ボランティア登録システム ・多言語サインの整理 など	プランに基づく事業の実施(PDCAによる見直し)			大会開催
○先導事業に対する支援		さいたま市のビッグイベントと連動した賑わいの創出	オリパラムーブメントの普及・啓発事業の実施			

2020年東京オリンピック・パラリンピック推進事業

- ◆(仮称)さいたま市オリパラ支援会議の支援 15,139千円
市長をトップとした、官民連携の組織。(市議会議員、市民、有識者、自治会、商店街、体育協会、障害者団体など、委員60名程度で構成。)

・オリパラ アクションプランの策定

上記のオリパラ支援会議と市内に設置された推進本部の2つの組織を活用し、オリパラ支援会議にて、本年度に策定予定のビジョンに基づく、アクションプラン(行動計画)を策定する。

ホストシティ・タウン構想の国への申請・登録

・統一した多言語サインの検討など

オリパラに向けた統一した多言語サインのあり方を整理する。

- ◆ボランティア登録システムの検討 11,880千円
市で実施されている各種イベントのボランティア登録を整合させ、一括したシステムを検討する。
- ◆その他(パンフレット、のぼり旗等)の作成 2,250千円

先導事業に対する支援

- ◆賑わいの創出のための機運醸成 5,000千円
オリパラ開催に向け、市のビッグイベントなどと連動させた、商店街や街の賑わいの創出を支援していく。
(例)商工会議所、青年会議所との連携による事業支援
- ◆オリパラ ムーブメントの普及や啓発事業の実施 15,000千円
オリンピック・パラリンピックの各種スポーツの紹介及び体験などを通じて、市民がオリンピックやパラリンピック、留学生等在日外国人とのコミュニケーションを図る機会を提供するとともに、オリンピック・パラリンピック開催までの機運の醸成を図る。

先進大会会場の視察(リオデジャネイロ)

- 7,000千円
開催時の状況や雰囲気、ボランティアの活動状況や街の賑わいなど、組織委員会と共に、リオ大会開催時の視察を実施することにより、具体的な大会支援に関する情報収集を充実させる。